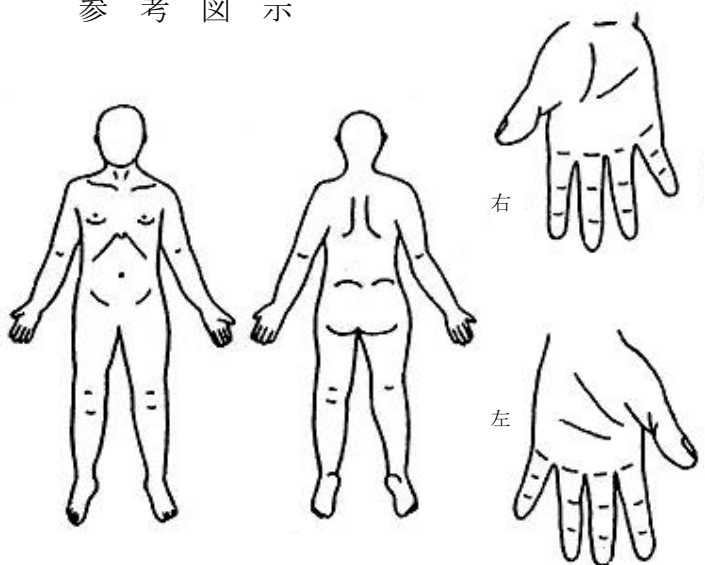


# 肢体不自由の状況及び所見

神経学的所見その他の機能障害（形態異常）の所見（該当するものを○でかこむこと。）

1. 感覚障害（下記図示）： なし・感覚脱失・感覚鈍麻・異常感覚
2. 運動障害（下記図示）： なし・弛緩性麻痺・痙性麻痺・固縮・不随意運動・しんせん・運動失調・その他
3. 起因部位： 脳・脊髄・末梢神経・筋肉・骨関節・その他
4. 排尿・排便機能障害： なし・あり
5. 先天奇形： なし・脳・脊髄・四肢・その他

## 参考図示



右		左
	上肢長cm	
	下肢長cm	
	上腕周径cm	
	前腕周径cm	
	大腿周径cm	
	下腿周径cm	
	握力kg	

<切断の場合>

上腕切断	健側上腕長	cm
	患側断端長	cm
大腿切断	健側大腿長	cm
	患側断端長	cm
下腿切断	健側下腿長	cm
	患側断端長	cm

×変形    ■切離断    ▨感覚障害    ▨運動障害

(注)関係ない部分は記入不要

※ 計測法は下記参照

動作・活動    自立-○    半介助-△    全介助又は不能-×、( ) の中のものを使う時はそれに○

寝がえりする		シャツを着て脱ぐ	
あしをなげ出して座る		ズボンをはいて脱ぐ(自助具)	
椅子に腰かける		ブラシで歯をみがく(自助具)	
立つ(手すり、壁、杖、松葉杖、義肢、装具)		顔を洗いタオルで拭く	
家の中の移動(壁、杖、松葉杖、義肢、装具、車椅子)		タオルを絞る	
洋式便器にすわる		背中を洗う	
排泄のあと始末をする		二階まで階段を上って下りる(手すり、杖、松葉杖)	
(箸で)食事をする(スプーン、自助具)		屋外を移動する(家の周辺程度)(杖、松葉杖、車椅子)	
コップで水を飲む		公共の乗物を利用する	

注：身体障害者福祉法の等級は機能障害（impairment）のレベルで認定されますので（ ）の中に○がついている場合、原則として自立していないという解釈になります。

※ 歩行能力の程度～自立歩行(                    m 程度)・介助歩行(                    m 程度)

計測法：

<切断の場合>

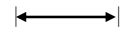
上肢長：肩峰 → 橈骨茎状突起	(上腕切断)	健側上腕長：腋窩腺→上腕骨外上顆
下肢長：上前腸骨棘 → (脛骨) 内果	(大腿切断)	患側断端長：腋窩腺→断端
上腕周径：最大周径	(下腿切断)	健側大腿長：坐骨結節→膝裂隙
前腕周径：最大周径		患側断端長：坐骨結節→断端
大腿周径：膝蓋骨上縁上 10 cm の周径		健側下腿長：膝裂隙→脛骨内果
下腿周径：最大周径		患側断端長：膝裂隙→断端

関節可動域 (ROM) と筋力テスト (MMT) (この表は必要な部分を記入)

筋力テスト ( )	関節可動域	筋力テスト ( )	関節可動域	筋力テスト ( )
( ) 前屈	180 150 120 90 60 30 0 30 60 90	後屈 ( ) 頸 ( ) 左屈	90 60 30 0 30 60 90 120 150 180	右屈 ( )
( ) 前屈	180 150 120 90 60 30 0 30 60 90	後屈 ( ) 体幹 ( ) 左屈	90 60 30 0 30 60 90 120 150 180	右屈 ( )
右 ( ) 屈曲	180 150 120 90 60 30 0 30 60 90	伸展 ( ) ( ) 伸展	90 60 30 0 30 60 90 120 150 180	左 ( ) 屈曲 ( )
( ) 外転		内転 ( ) 肩 ( ) 内転		外転 ( )
( ) 外旋		内旋 ( ) ( ) 内旋		外旋 ( )
( ) 屈曲		伸展 ( ) 肘 ( ) 伸展		屈曲 ( )
( ) 回外		回内 ( ) 前腕 ( ) 回内		回外 ( )
( ) 掌屈		背屈 ( ) 手 ( ) 背屈		掌屈 ( )
( ) 屈曲		伸展 ( ) 中手指節 (M) ( ) 伸展		屈曲 ( )
( ) 屈曲		伸展 ( ) 示 ( ) 伸展		屈曲 ( )
( ) 屈曲		伸展 ( ) 中 ( ) 伸展		屈曲 ( )
( ) 屈曲		伸展 ( ) 環 (PIP) ( ) 伸展		屈曲 ( )
( ) 屈曲		伸展 ( ) 小 ( ) 伸展		屈曲 ( )
( ) 屈曲		伸展 ( ) 近位指節 (PIP) ( ) 伸展		屈曲 ( )
( ) 屈曲		伸展 ( ) 示 ( ) 伸展		屈曲 ( )
( ) 屈曲		伸展 ( ) 中 ( ) 伸展		屈曲 ( )
( ) 屈曲		伸展 ( ) 環 (PIP) ( ) 伸展		屈曲 ( )
( ) 屈曲		伸展 ( ) 小 ( ) 伸展		屈曲 ( )
( ) 屈曲	180 150 120 90 60 30 0 30 60 90	伸展 ( ) ( ) 伸展	90 60 30 0 30 60 90 120 150 180	屈曲 ( )
( ) 外転		内転 ( ) 股 ( ) 内転		外転 ( )
( ) 外旋		内旋 ( ) ( ) 内旋		外旋 ( )
( ) 屈曲		伸展 ( ) 膝 ( ) 伸展		屈曲 ( )
( ) 底屈		背屈 ( ) 足 ( ) 背屈		底屈 ( )

備考

注:

1. 関節可動域は、他動的可動域を原則とする。
2. 関節可動域は、基本肢位を0度とする日本整形外科学会、日本リハビリテーション医学会の指定する表示法とする。
3. 関節可動域の図示は、のように両端に太線をひき、その間を矢印で結ぶ。強直の場合は、強直肢位に波線(ξ)を引く。
4. 筋力については、表( )内に×△○印を記入する。  
×印は、筋力が消失または著減(筋力0、1、2該当)

5. △印は、筋力半減(筋力3該当)
6. ○印は、筋力正常またはやや減(筋力4、5該当)
7. (PIP)の項母指は(IP)関節を指す。
8. DIP その他手指の対立内外転等の表示は必要に応じ備考欄を用いる。
9. 図中ぬりつぶした部分は、参考的正常範囲外の部分で、反張膝等の異常可動はこの部分にはみ出し記入となる。

例示

